

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
110042	X-01/21-A-1-110042	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
日本史（近現代）				吉澤 文寿	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
			【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年		
授業目的								
この講義は、第1期—19世紀後半から1945年までの日本の歴史について、とくに日本の近隣地域、すなわち台湾、朝鮮、中国、さらには東南アジアに対する侵略の歴史、第2期—1945年以後の日本と近隣諸国における戦争責任、植民地支配責任とそれをめぐる今日の議論を考察し、日本と近隣諸国との建設的な将来を構想することを目的とする。								
各回の授業内容								
第1回 【授】 講義の概要 【前・後】 講義全体の案内をしますので、必ず出席すること。（予習・復習各2時間） 第2回 【授】 明治維新と沖縄、北海道 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第3回 【授】 日清戦争と台湾・朝鮮 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第4回 【授】 日露戦争と韓国併合 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第5回 【授】 第一次世界大戦期の日本とアジア 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第6回 【授】 満州事変・日中戦争 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第7回 【授】 アジア太平洋戦争 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第8回 【授】 日本の敗戦と戦後改革（第1回レポート提出） 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間）				第9回 【授】 戦後改革の逆コースと講和 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第10回 【授】 講和交渉（1950年代）…中華民国、ソ連、東南アジア諸国 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第11回 【授】 大韓民国・中華人民共和国との国交正常化交渉と沖縄返還 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第12回 【授】 戦後補償問題の現在 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第13回 【授】 内なる植民地主義の克服に向けて…沖縄、アイヌ、在日外国人 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第14回 【授】 第2期のまとめ（第2回レポート提出） 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間） 第15回 【授】 （講義代替レポート）講義中に指定したDVD、書籍などについての感想文を第14回講義時に提出する。 【前・後】 書籍等で関連部分の予習／復習（各2時間）+レポート作成時間（2時間） 第16回 【授】 予備日 【前・後】 予習／復習各1時間				
成績評価方法								
半期ごとに提出するレポート（70%）、および授業時に提出するコメントペーパーおよび講義代替レポート（30%）で成績判断する。授業中に、提出物に対して講評する。								
教科書・参考書								
小林英夫『日本のアジア侵略』山川出版社、2001年、729円＋税。 内海愛子『戦後補償から考える日本とアジア』山川出版社、2010年、800円＋税。								
受講に当たっての留意事項								
受講にあたり、当該の講義内容を予習することを勧める。学科を問わず、受講を勧める。								
実務経験のある 教員による授業 科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施	
×							×	
学習到達目標								
日本のアジア侵略の歴史に関連する今日の議論を学ぶことにより、グローバルな課題に批判的な問題意識と建設的な眼差しをもって向き合う実践的な態度が身に付くことを期待する。								
JABEE								

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習